



いばらき県議会だより

2003年 No.146

発行 茨城県議会 編集 県議会情報委員会 〒310-8555 水戸市笠原町978番6 ☎029(301)5646 (年4回発行)

みんなが安心して暮らせるまちをめざして

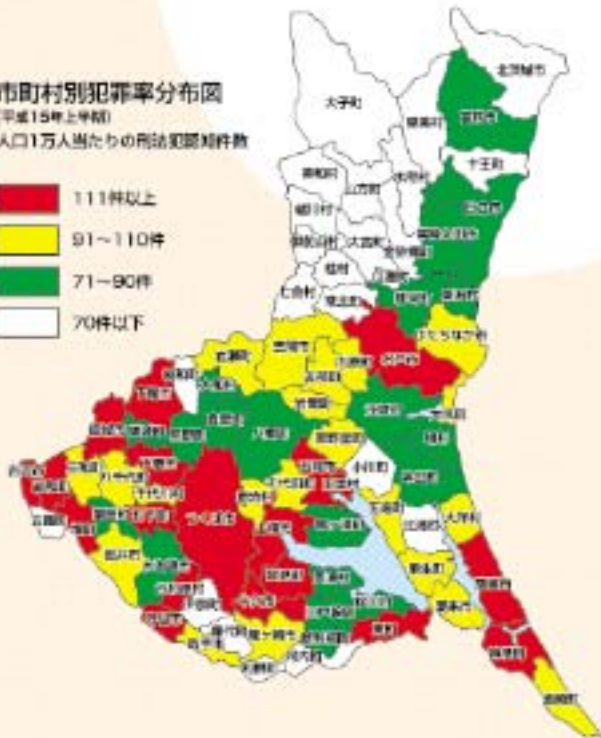
みんなで作ろう安心の街

- あいさつのいきかう街にあき樂なし
- 再確認キーの抜き取りドアロック
- すきのない持ち方置き方歩き方
- ふれあいと非行防止は街ぐるみ



市町村別犯罪率分布図
(平成15年上半期)
人口1万人当たりの刑法犯認知件数

- 111件以上
- 91~110件
- 71~90件
- 70件以下



犯罪を防止し、安全なまちづくりを

空き巣や車上狙い、ひったくりなど近年、犯罪は著しく増加しています。本県の平成14年の刑法犯認知件数は67,672件で、これは県内のどこかで7分に1件の割合で犯罪が発生していることとなります。一方、核家族化や都市化により地域の連帯意識が薄れ、地域の犯罪抑止力が低下しています。みんなが安心して暮らせるまちを実現するには、行政、事業者及び県民が一体となって犯罪の防止に取り組むことが重要になってきています。県では、市町村、事業者及び県民との連携協力の下、「茨城県安全なまちづくり条例」に基づき、犯罪防止に配慮した道路、公園等や「子どもを守る110番の家」の普及など、犯罪の起こりにくいまちづくりを進めています。犯罪を発生させない、犯罪被害に遭わないためにも県民一人ひとりが防犯意識を高め、防犯対策に取り組むことが大切です。

いじめいじめ



茨城県議会議長

潮田 龍雄

本年も残りわずかとなってまいりました。皆様には、日頃から県政に対するご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

先の見えない厳しい経済状況が続く中で、我が国は、地方分権の推進に向けた三位一体の改革や少子高齢化に伴う年金・医療・介護など社会保障制度の見直し、地球規模で進む環境問題など、様々な課題に対応するため、社会システムの抜本的な再構築を迫られております。

政府は、構造改革の推進により経済社会の活性化に取り組んでおりますが、地方でも、画一的・横並び的な意識を脱却し、創意工夫による真の自由競争社会を目指したシステムに見直す改革が求められております。

地方分権の時代を迎え、ますます激しさを増す地域間・国際間競争を勝ち抜くためにはこれまで進めてきた本県の発展基盤の整備をより確かなものとしつつ、「新しい豊かさ」と「輝く未来」を実現するという気概、さらには、「茨城が日本の未来を導いていく」という気概を持って、議会も積極的に努力していくことが重要であると考えております。

茨城県議会といたしましては、「分権時代をリードする県議会」をモットーに、三〇〇万県民の負託に応えるため、来年も全力で取り組んでまいります。県民の皆様のお一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。皆様、どうぞ良いお年をお迎えください。